

【第1回アンケート調査】

- 一次調査の対象：18-49歳、女性
- 二次調査の対象：下記条件に当てはまった最初の5,356人
症状：月経困難症が少しでもある or 鎮痛剤少しでも使用あり
あるいは、PMSが少しでもある
通院：今、通院なし
- 人数：一次調査 40,000人、二次調査 5,356人

【第2回アンケート調査】

- 18-49歳、女性
- Dysmenorrhea Score 3点以上の月経困難症 かつ 継続した医療機関受診がない
- 人数 3,708人

Dysmenorrhea Score (月経困難症スコア)

月経困難症の程度
+
鎮痛剤使用の程度

スコア

なし

1

2

3

4

5

6

重度

中等度以上

月経困難症の程度

None

0 痛みがない

Mild

1 仕事（学業・家事）に若干の支障あり

Moderate

2 横になって休息したくなるほど仕事（学業・家事）への支障をきたす

Severe

3 1日以上寝込み、仕事（学業・家事）ができない

鎮痛剤使用の程度

None

0 月経中に痛み止めは1日も使っていない。

Mild

1 月経中に痛み止めを1日使用した。

Moderate

2 月経中に痛み止めを2日使用した。

Severe

3 月経中に痛み止めを3日以上使用した。

第1回アンケート調査 一次調査

N = 40,000

一次調査

Q2 生理痛のために、仕事を休んだことがありますか。

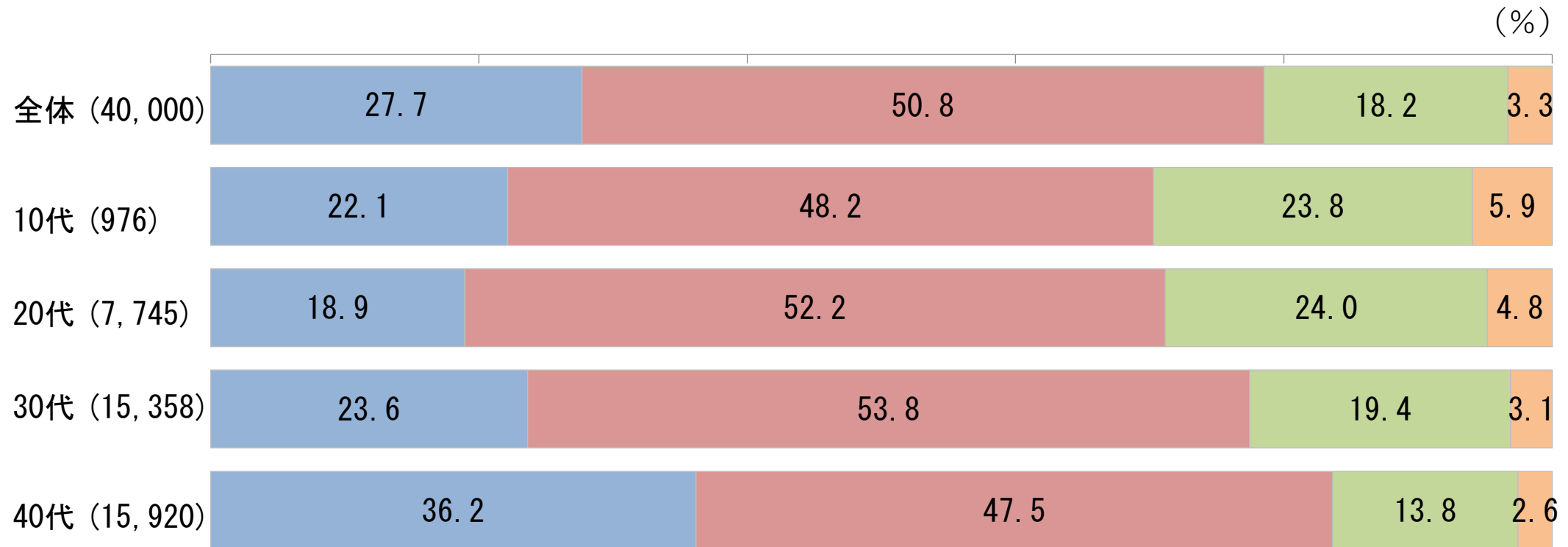
単一回答

	n	%
全体	(40000)	
これまで仕事に就いたことがない	2434	6.1
働いている（働いたことはある）が、生理痛のために休んだことがない	28865	72.2
働いており（働いたことはあり）、生理痛のために仕事を休んだことがある	8701	21.8

一次調査

Q4 直近2回の生理痛の程度についての質問です。最もあてはまるものを1つお答えください。(n=40,000)

- 痛みがない
- 仕事（学業・家事）に若干の支障あり
- 横になって休息したくなるほど仕事（学業・家事）への支障を来す
- 1日以上寝込み、仕事（学業・家事）ができない



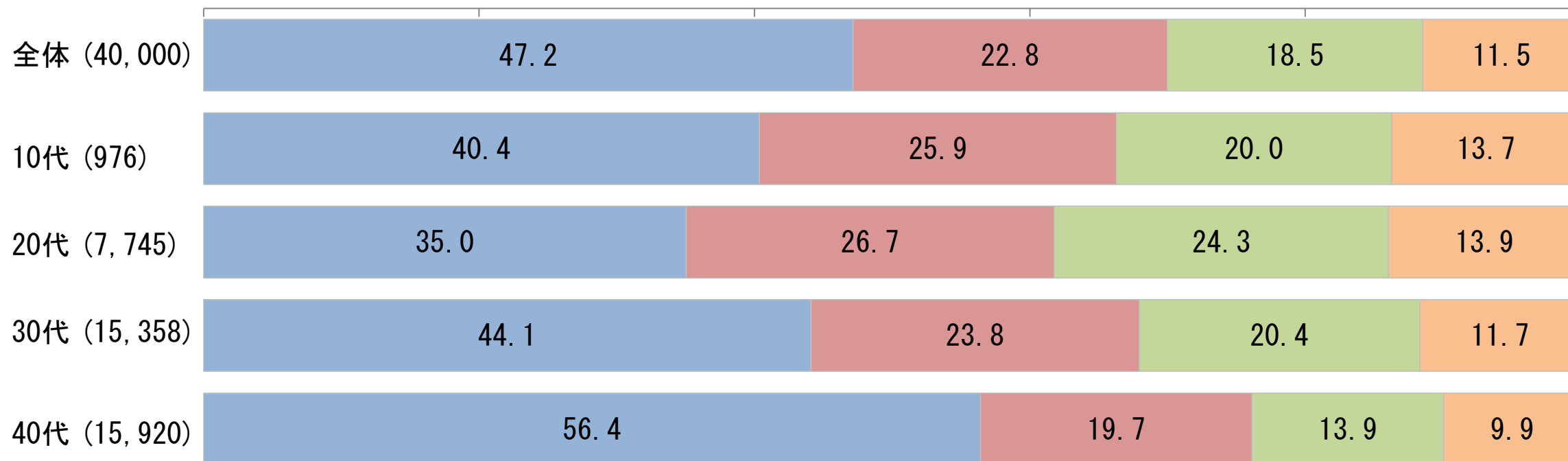


一次調査

Q5 直近2回の生理中の、痛み止めの使用についての質問です。
最もあてはまるものを一つお答えください。
(n=40000)

- 生理中に痛み止めは1日も使っていない。
- 生理中に痛み止めを1日使用した
- 生理中に痛み止めを2日使用した
- 生理中に痛み止めを3日以上使用した

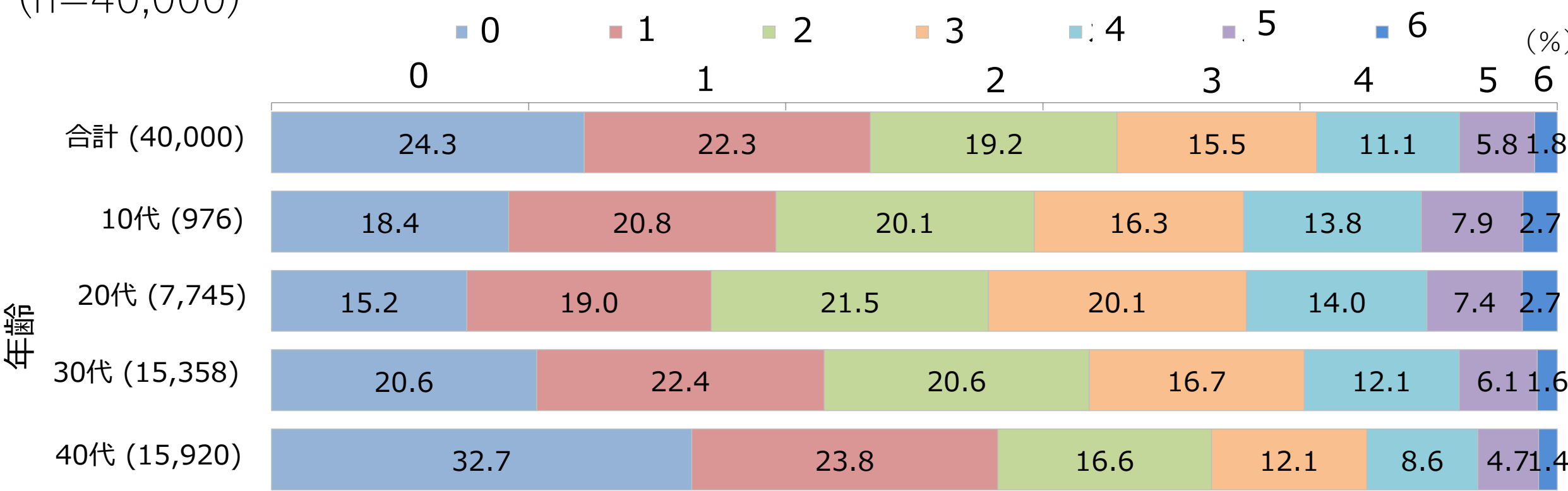
(%)





一次調査

Q5-6 直近2回の生理中での、Dysmenorrhea Score
(n=40,000)



- 75.7 % 月経困難症あり：1 点以上
 - 34.2 % 中等度以上の月経困難症あり：3 点以上
- 21.8%が仕事を休んだことある
- 37.3%が仕事を休んだことある

月経困難症スコアは年齢と非線形に関連していた。



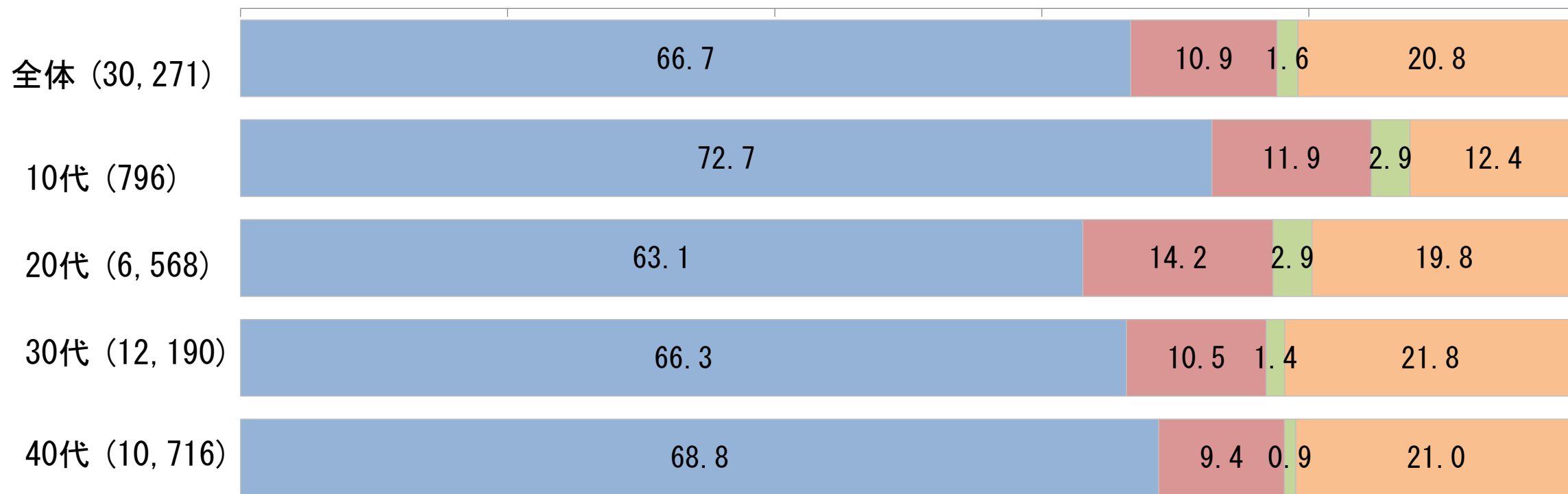
一次調査

第1回アンケート 一次調査

Q7 生理痛を理由に、これまでに医療機関を受診したことがありますか。最もあてはまるものを一つお答えください。
(月経痛があるor鎮痛剤を使用している)

- 一度も医療機関を受診したことがない
- 現在医療機関に通院中である（対面診療あり）
- 現在医療機関に通院中である（オンライン診療のみ）
- 受診したことはあるが通院していない

(%)





医療機関への受診の状態

- 月経困難症がある人（月経困難症スコア 1点以上）（n=30,271）

66.7% 一度も受診したことがない

20.8% 受診したが中断した

12.5% 受診継続中（オンライン診療含む）

- 中等度以上の月経困難症がある人（月経困難症スコア 3点以上）（n=13,695）

53.5% 一度も受診したことがない

28.3% 受診したが中断した

18.2% 受診継続中（オンライン診療含む）



月経困難症に対する医療機関への受診

Predictor	OR	95%信頼区間	p
月経困難症スコア	1.86	1.77-1.94	<0.001
世帯年収			
<400万 (Ref.)	—	—	—
400–799万	1.13	1.01-1.25	0.03
800–1199万	1.29	1.11-1.50	0.00
≥1200万	1.47	1.15-1.89	0.00
わからない	1.04	0.92-1.18	0.52
雇用			
正規 + 自営 (Ref.)	—	—	—
非正規	0.84	0.76-0.94	<0.001
非労働力・その他	0.82	0.74-0.91	<0.001
最終学歴			
中学校	—	—	—
高校	0.46	0.29-0.74	<0.001
短大/大学以上	0.42	0.27-0.66	<0.001

(ORが高いと受診率高い)

受診率下がる

- 非正規雇用・非労働者
- 最終学歴が上がる

受診率上がる

- 月経困難症スコアが高い
- 世帯年収が400万円以上



一次調査

Q8-1 生理痛の悩みについて、これまでどなたに相談している（していた）
でしょうか。現在の相談相手(月経困難症スコア 1点以上) 一つずつ

- 誰にも相談していない

■ 担任の先生／部活の先生

■ 保健の先生

■ 家族（母）
- 家族（兄弟・姉妹）

■ 家族（上記以外）

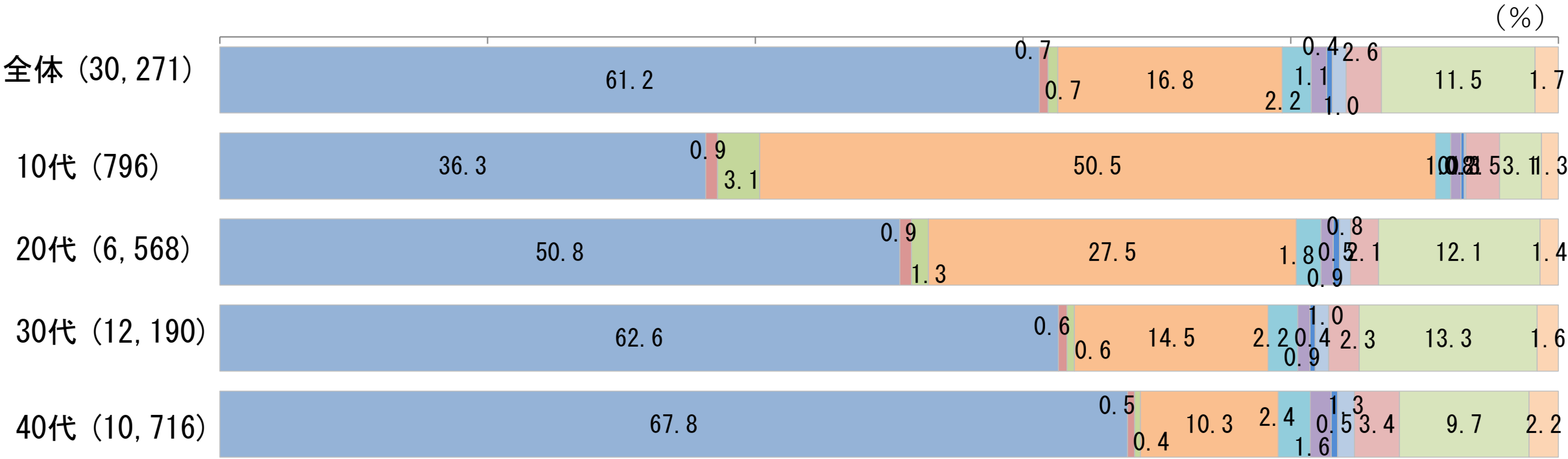
■ 職場の産業医

■ 職場／学校の先輩
- 職場／学校の友達

■ 配偶者/パートナー

■ その他

■ この学校には行っていない



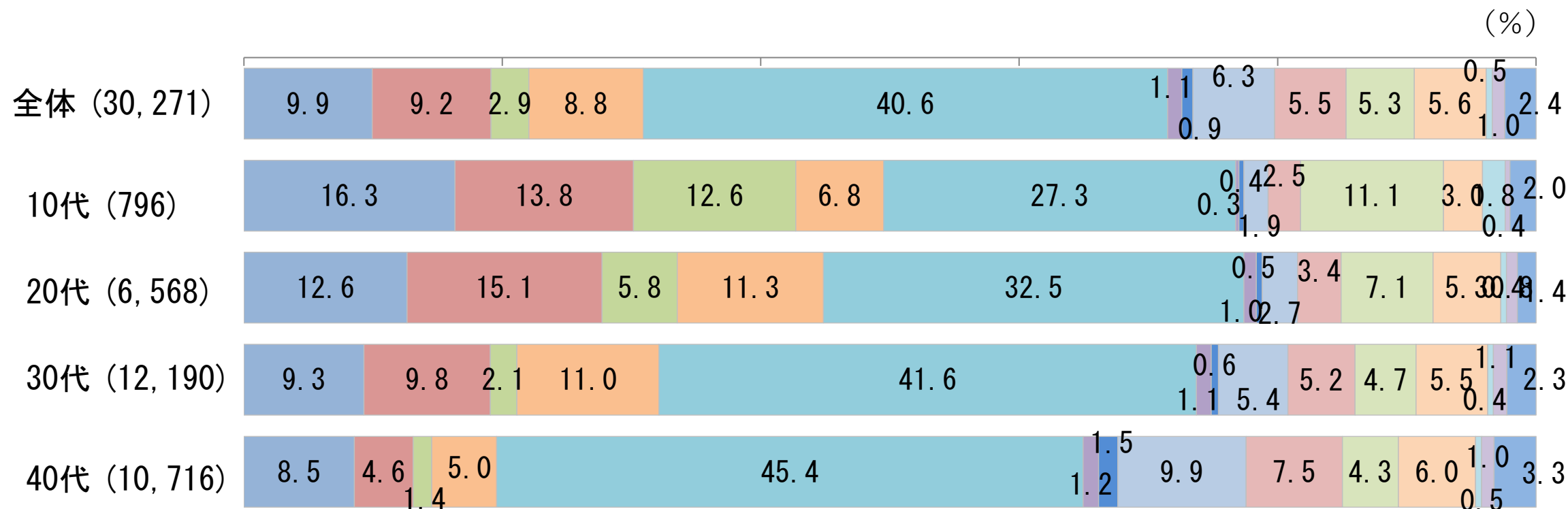


一次調査

第1回アンケート 一次調査

Q9-1 生理痛に関して、どこから情報をえている（えていた）のでしょうか。
現在の情報源（月経困難症スコア 1点以上） 一つずつ

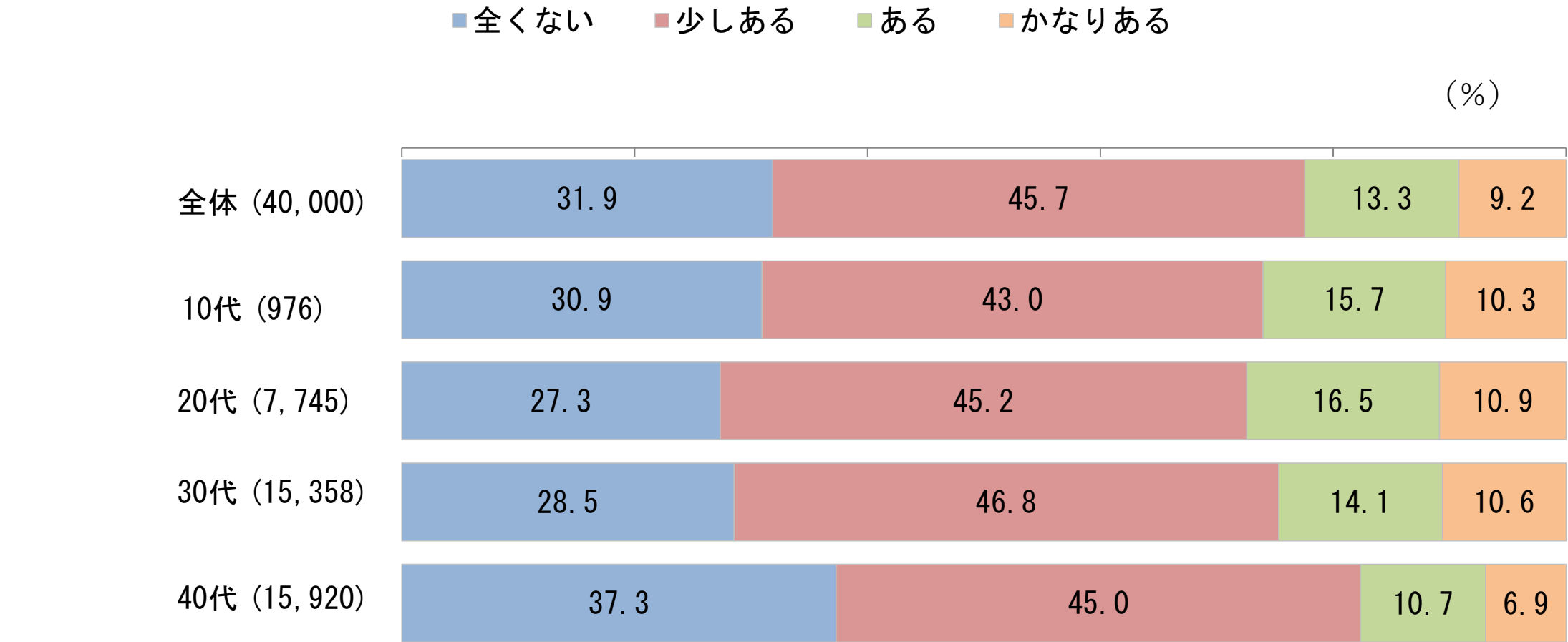
- YouTube
- インスタ
- 雑誌／新聞
- 家族（親など）
- 職場（産業医、セミナー、ポスターなど）
- X（旧Twitter）
- ネット検索／検索エンジン
- テレビ
- 病院（医師、掲示板、チラシなど）
- その他
- TikTok
- 企業サイト
- 友達
- 学校（保健室、授業、ポスターなど）





一次調査

Q10 直近2回の生理に関して、生理前の不快な症状は職場・家族・友人との関係に差しさわりがありますか。 (n=40,000)





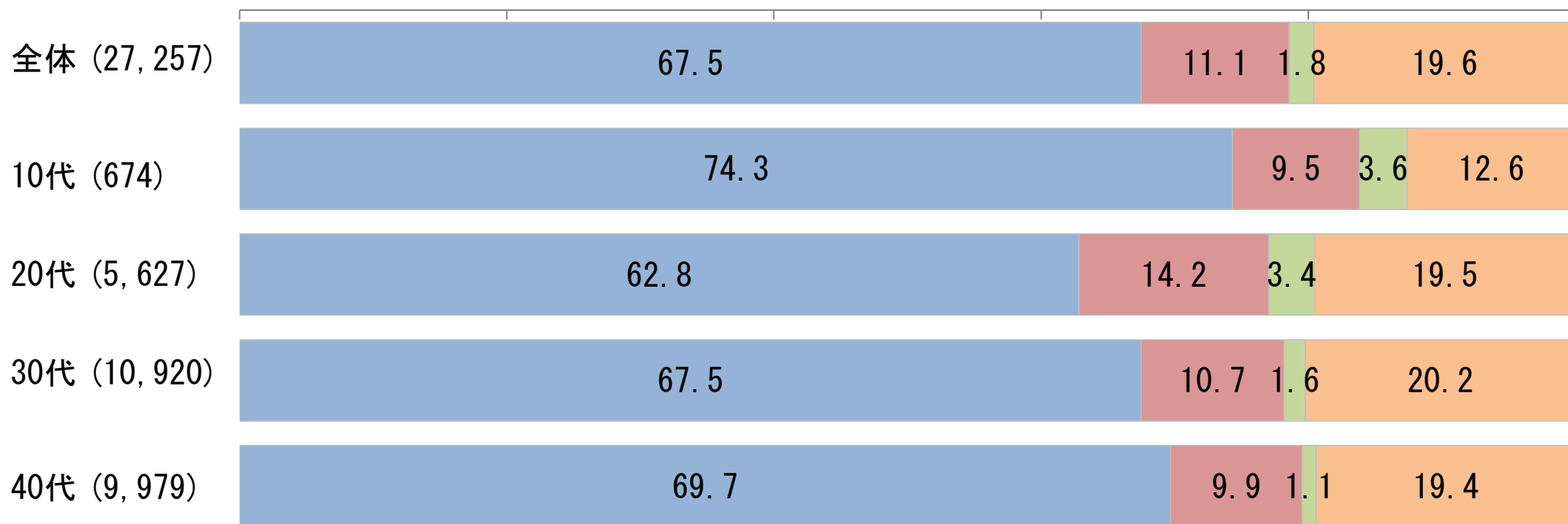
一次調査

第1回アンケート 一次調査

Q11 そのような不快な症状について、これまでに医療機関を受診したことがありますか。(n=27,257; PMS症状ある人)

- 一度も医療機関を受診したことがない
- 現在医療機関に通院中である（対面診療あり）
- 現在医療機関に通院中である（オンライン診療のみ）
- 受診したことはあるが通院していない

(%)

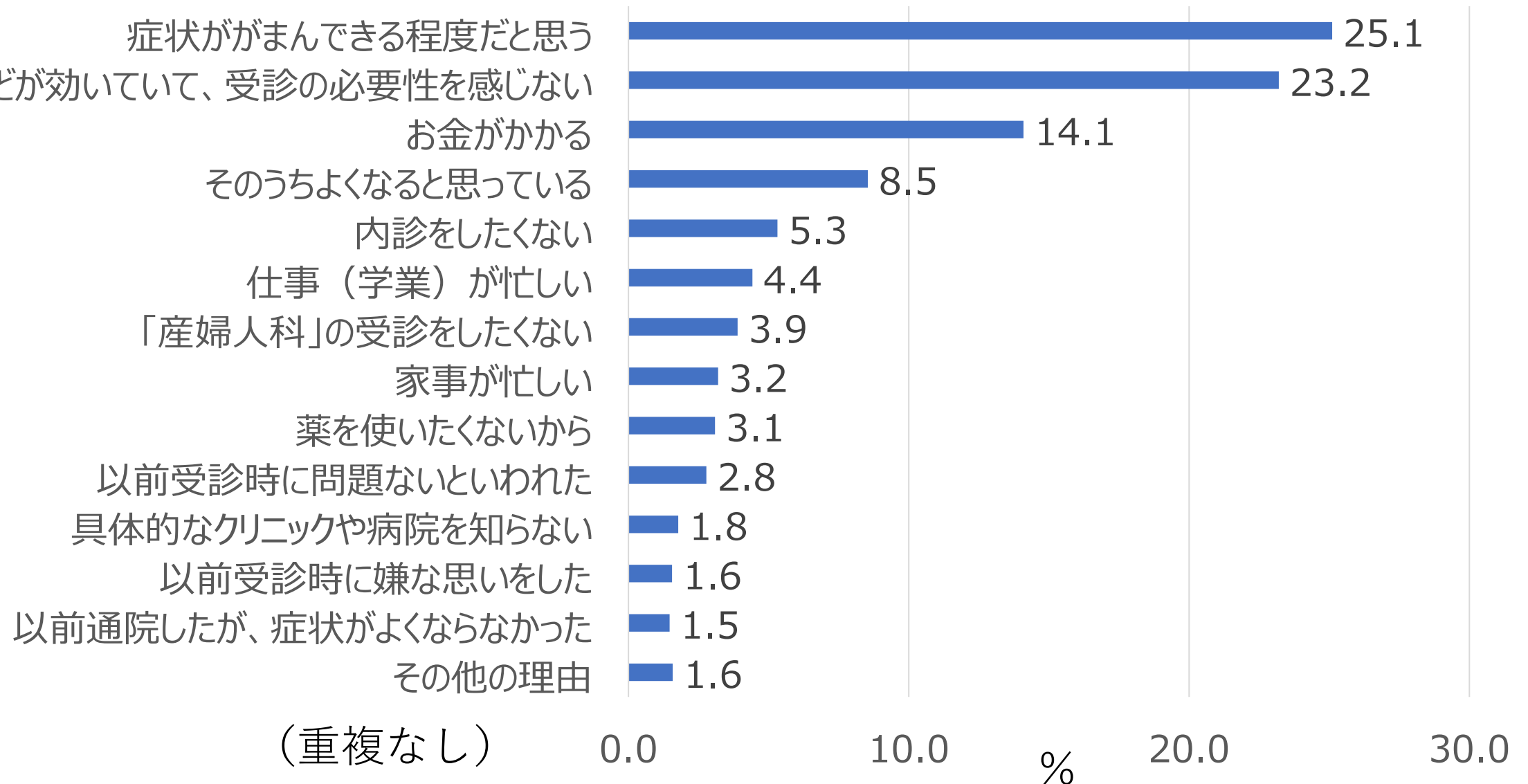


第1回アンケート調査 二次調査

N = 5,356



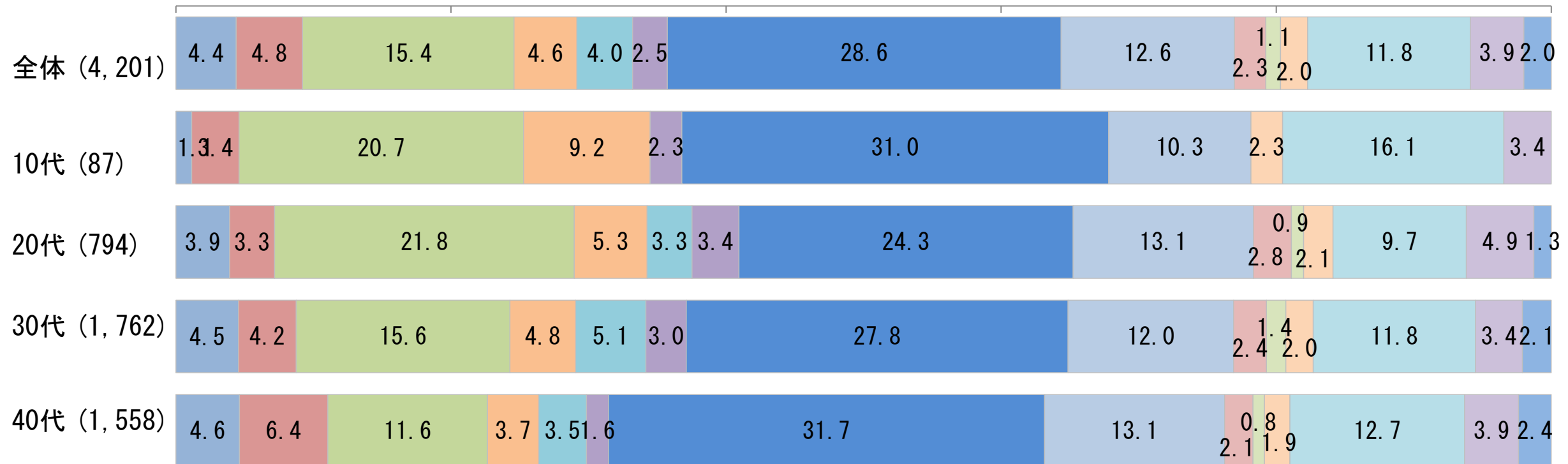
二次調査Q1-2 生理痛があるにも関わらず、現在あなたがクリニックや病院を受診していない理由(n=4,569) (Dysmenorrhea score 0除く)



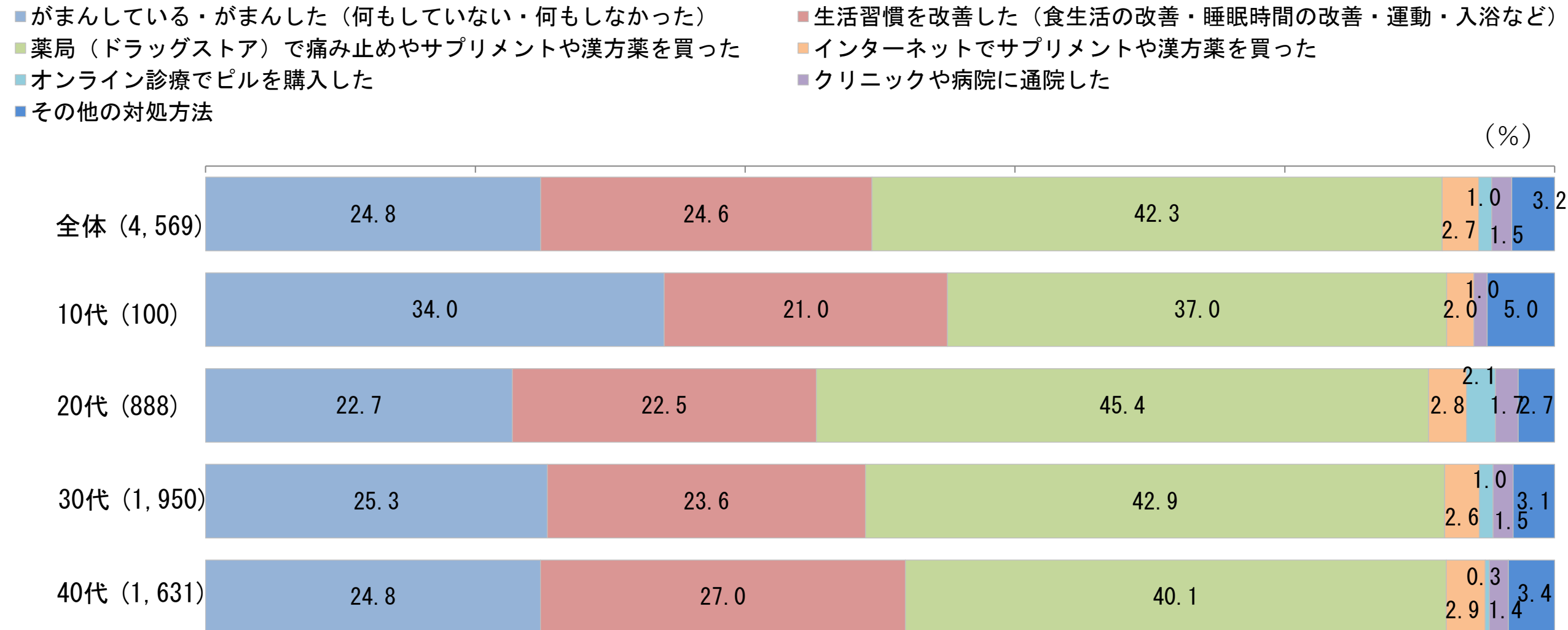
二次調査Q1-4生理前の不快な症状があるにも関わらず、現在あなたがクリニックや病院を受診していない理由 一つずつ

- 「産婦人科」を受診をしたくないから
- お金がかかるから
- 家事が忙しいから
- 症状ががまんできる程度だと思うから
- 以前受診時に問題ないといわれたから
- 以前通院したが、症状がよくならなかったから
- 薬を使いたくないから
- 内診をしたくないから
- 仕事（学業）が忙しいから
- 具体的なクリニックや病院を知らないから
- 市販薬などが効いていて、受診の必要性を感じないから
- 以前受診時に嫌な思いをしたから
- そのうちよくなっているから
- その他の理由

(%)



二次調査Q3-3 **生理痛**に対して自分でやっている（行っていた）対処法について、以下のあてはまるものをお答えください。 **現在行っている対処方法（いくつでも）**（n=4,569）



二次調査Q3-4 生理痛に対して自分で行っている（行っていた）対処法について、以下のあてはまるものをお答えください。最現在行っている対処方法のうち、最も力を入れているものの初に行った対処方法（ひとつ）
(n=4,569)

- がまんしている・がまんした（何もしていない・何もしなかった）

■薬局（ドラッグストア）で痛み止めやサプリメントや漢方薬を買った

■オンライン診療でピルを購入した

■その他の対処方法

■生活習慣を改善した（食生活の改善・睡眠時間の改善・運動・入浴など）

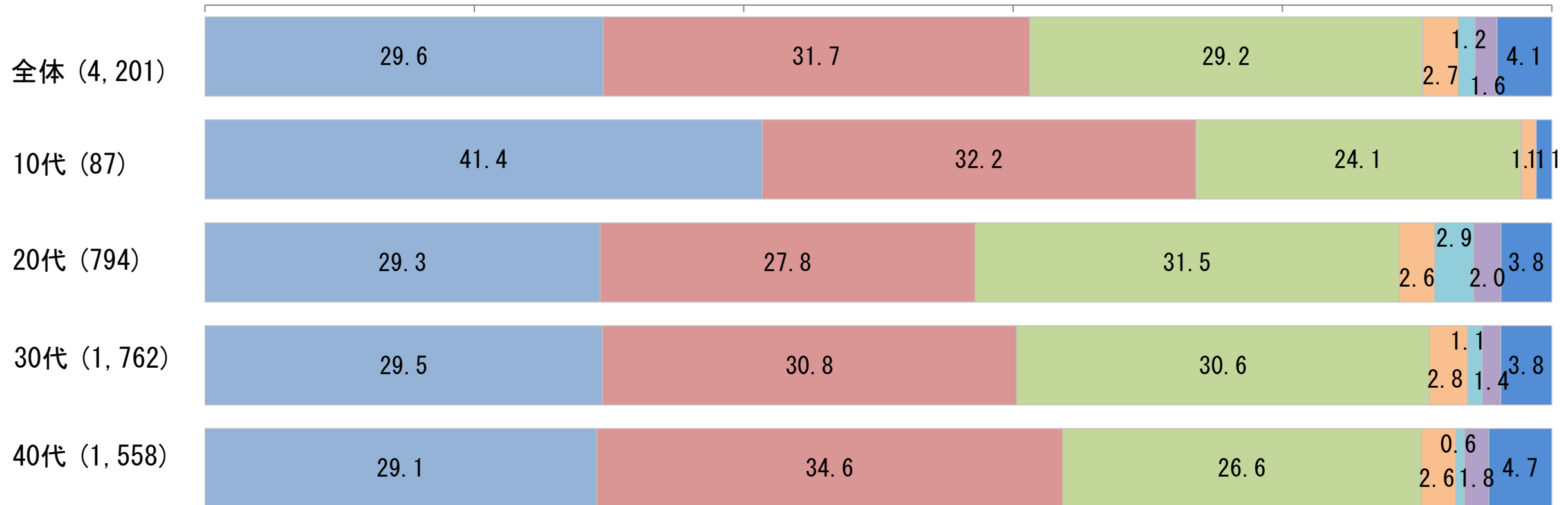
■インターネットでサプリメントや漢方薬を買った

■クリニックや病院に通院した
- (%)
- | 年齢層 | がまんしている・がまんした（何もしていない・何もしなかった） | 生活習慣を改善した（食生活の改善・睡眠時間の改善・運動・入浴など） | 薬局（ドラッグストア）で痛み止めやサプリメントや漢方薬を買った | インターネットでサプリメントや漢方薬を買った | オンライン診療でピルを購入した | クリニックや病院に通院した | その他の対処方法 |
|-------------|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------|-----------------|---------------|----------|
| 全体 (4,569) | 19.3 | 21.5 | 49.2 | 3.3 | 1.2 | 1.8 | 3.6 |
| 10代 (100) | 30.0 | 18.0 | 44.0 | 2.0 | 1.0 | 0.0 | 5.0 |
| 20代 (888) | 16.3 | 19.1 | 52.8 | 3.8 | 2.8 | 2.1 | 2.9 |
| 30代 (1,950) | 19.4 | 20.7 | 50.3 | 3.1 | 1.3 | 1.8 | 3.4 |
| 40代 (1,631) | 20.1 | 24.0 | 46.4 | 3.5 | 0.4 | 1.6 | 4.1 |

二次調査Q4-3生理前の不快な症状に対する自分で行っている（行っていた）対処法について、以下のあてはまるものをお答えください。 **現在行っている対処方法（いくつでも）**

- がまんしている・がまんした（何もしていない・何もなかった）
- 薬局（ドラッグストア）で痛み止めやサプリメントや漢方薬を買った
- オンライン診療でピルを購入した
- その他の対処方法
- 生活習慣を改善した（食生活の改善・睡眠時間の改善・運動・入浴など）
- インターネットでサプリメントや漢方薬を買った
- クリニックや病院に通院した

（%）



二次調査Q4-4 生理前の不快な症状に対する自分で行っている（行っていた）対処法について、以下のあてはまるものをお答えください。 現在行っている対処方法のうち、最も力を入れているもの（ひとつ）

- がまんしている・がまんした（何もしていない・何もしなかった）

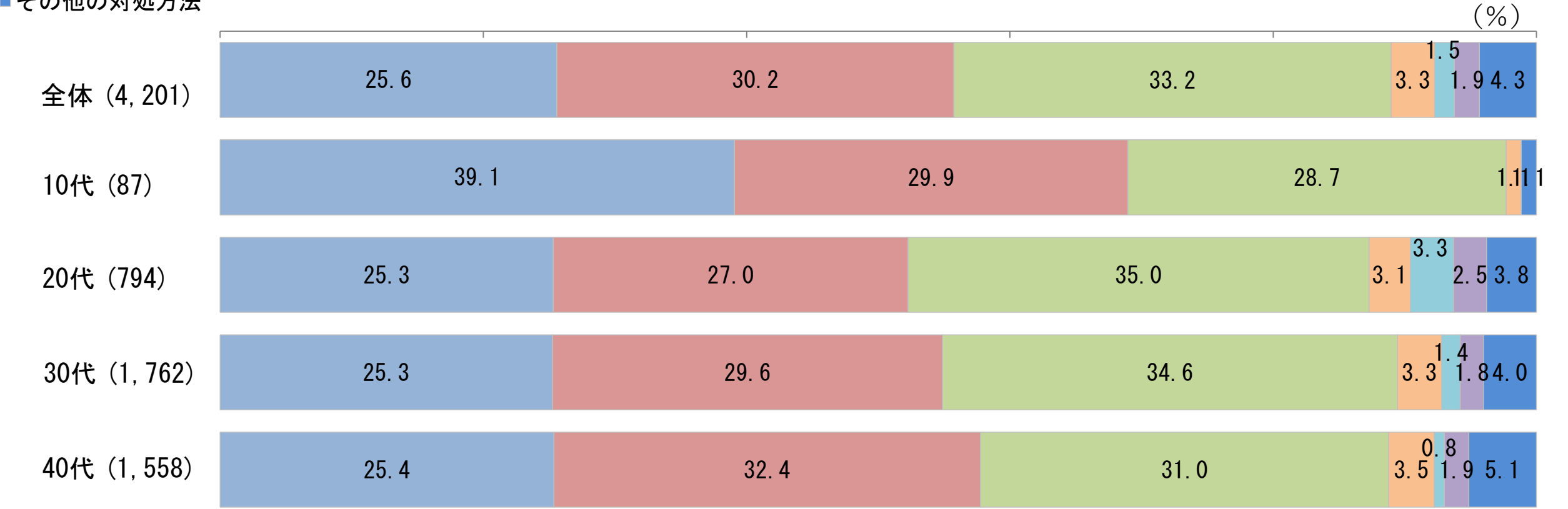
■薬局（ドラッグストア）で痛み止めやサプリメントや漢方薬を買った

■オンライン診療でピルを購入した

■その他の対処方法
- 生活習慣を改善した（食生活の改善・睡眠時間の改善・運動・入浴など）

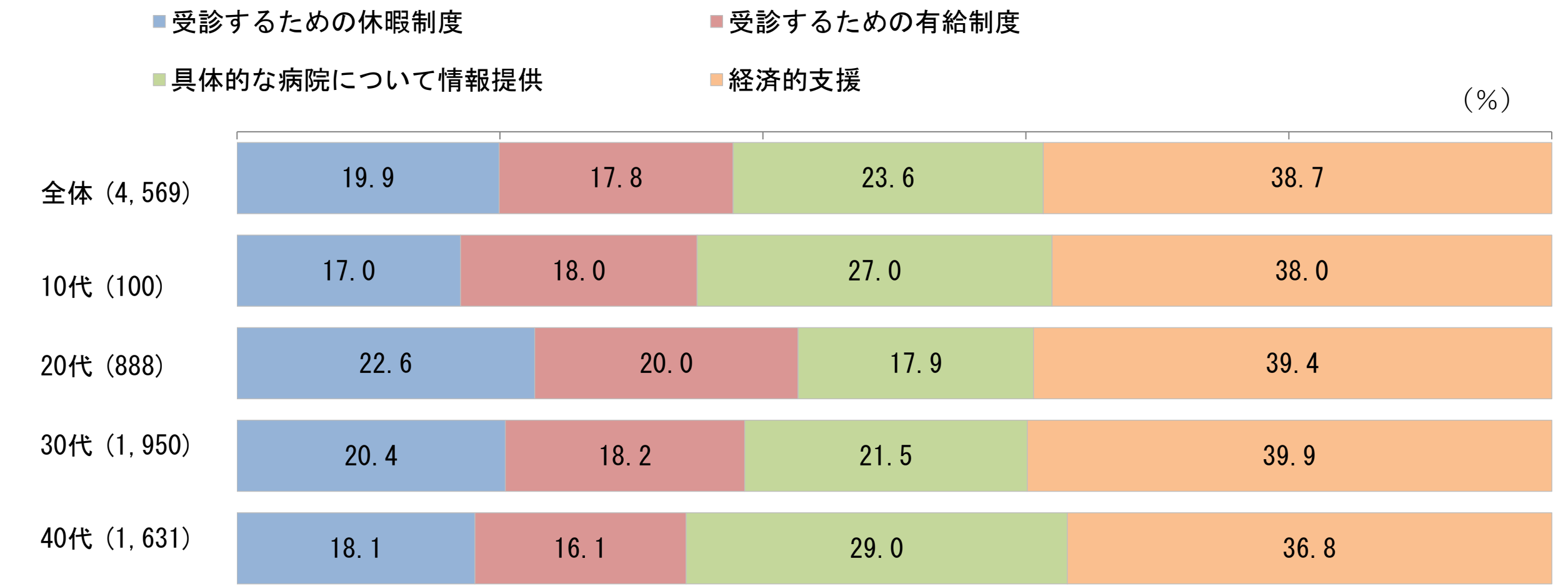
■インターネットでサプリメントや漢方薬を買った

■クリニックや病院に通院した





二次調査Q2-1今ある生理痛や生理前の症状について、医療機関に受診してほしいと思っています。どのようなサービスがあれば受診すると思いますか。生理痛について (n=4,569) (Dysmenorrhea score 0除く) **一つ選ぶ**





二次調査Q2-2今ある生理痛や生理前の症状について、医療機関に受診してほしいと思っています。どのようなサービスがあれば受診すると思いますか。生理前の症状について 一つ選ぶ

■ 受診するための休暇制度 ■ 受診するための有給制度
■ 具体的な病院について情報提供 ■ 経済的支援

(%)



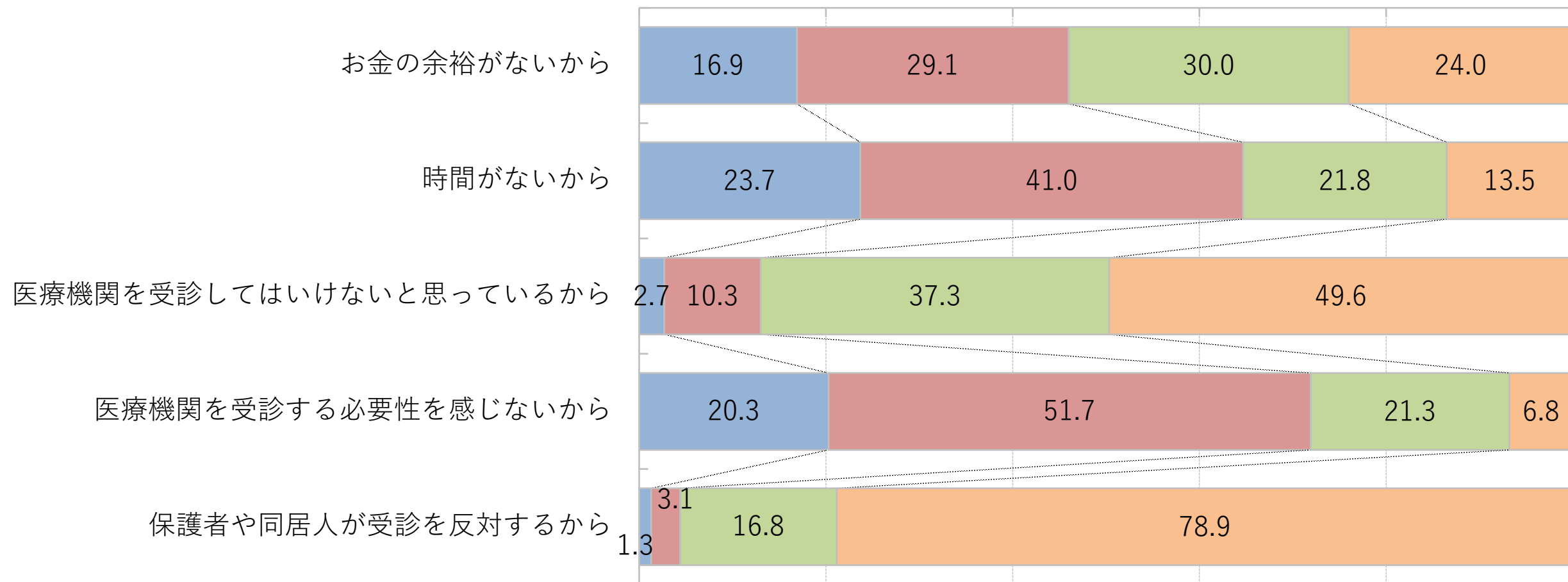
第2回アンケート

N=3,708

Q2 生理痛を理由にこれまで医療機関を受診したことがない理由 (n=3,195)

■ とても当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

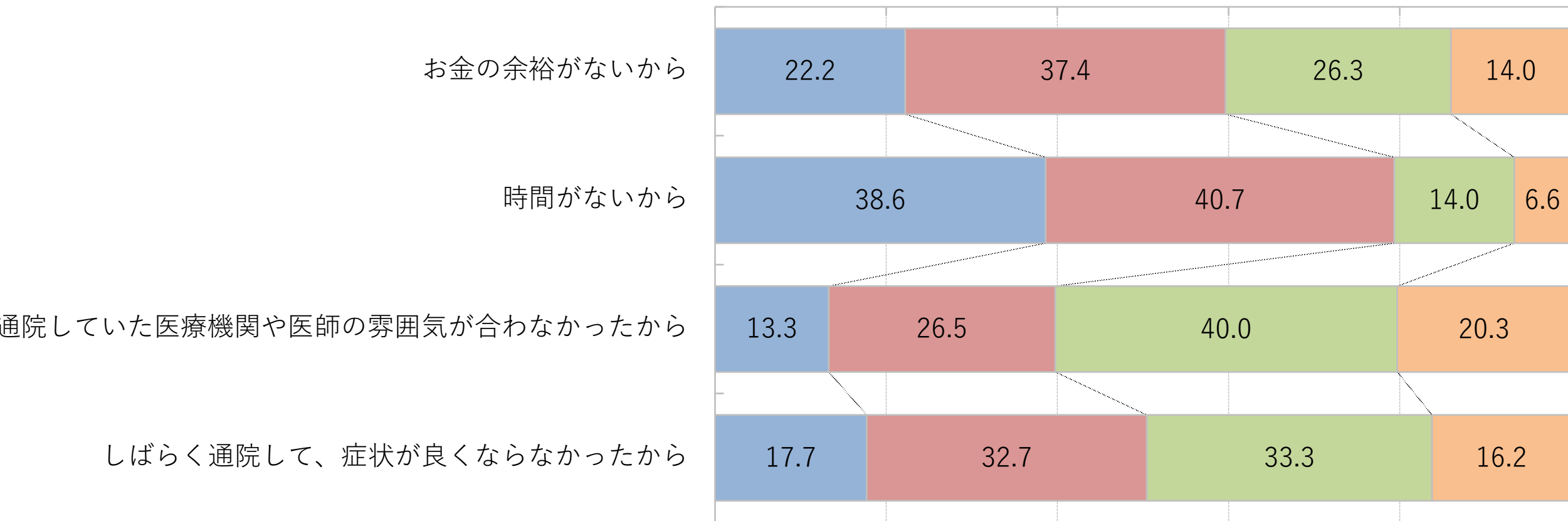
0% 20% 40% 60% 80% 100%



Q1 生理痛を理由に医療機関を受診したことはあるが、今は通院していない理由 (n=513)

■ とても当てはまる ■ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない ■ 全く当てはまらない

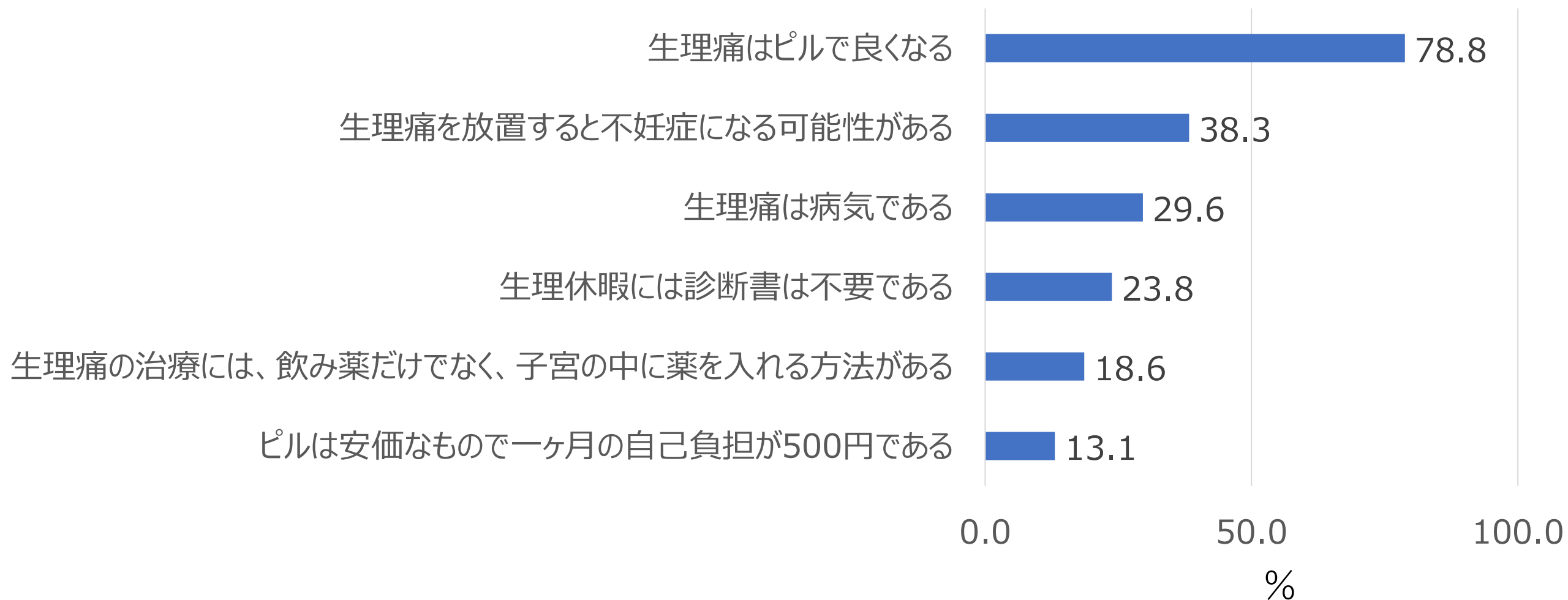
0% 20% 40% 60% 80% 100%



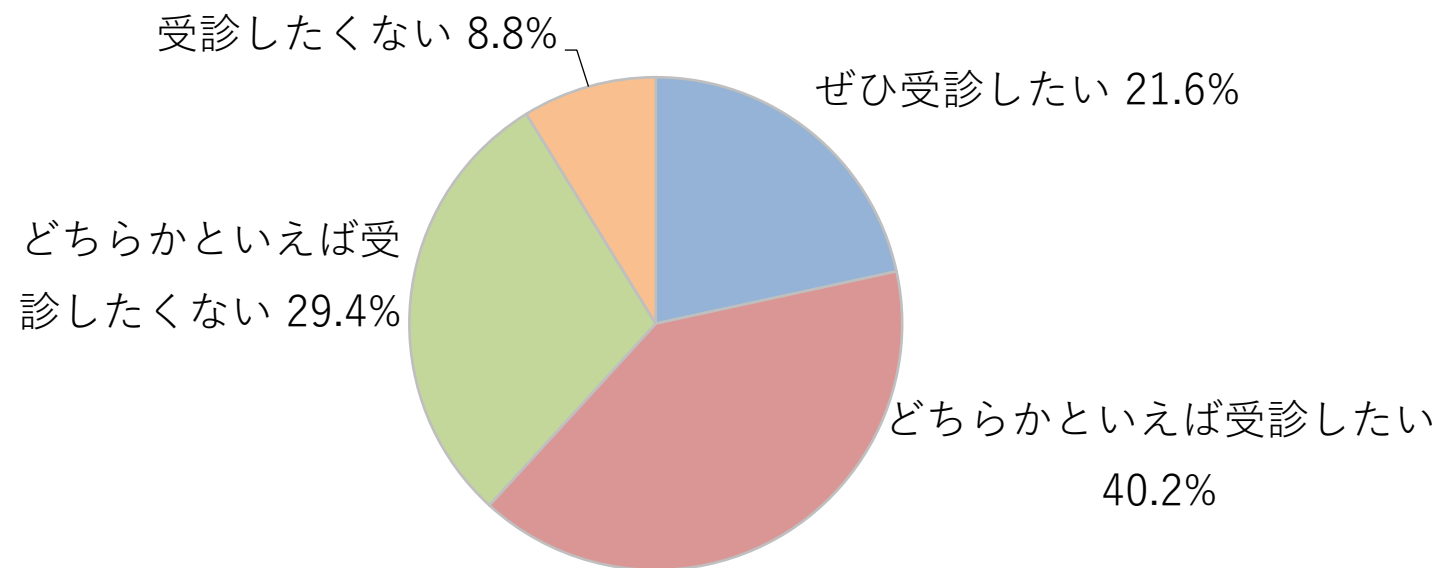


月経困難症の知識の普及

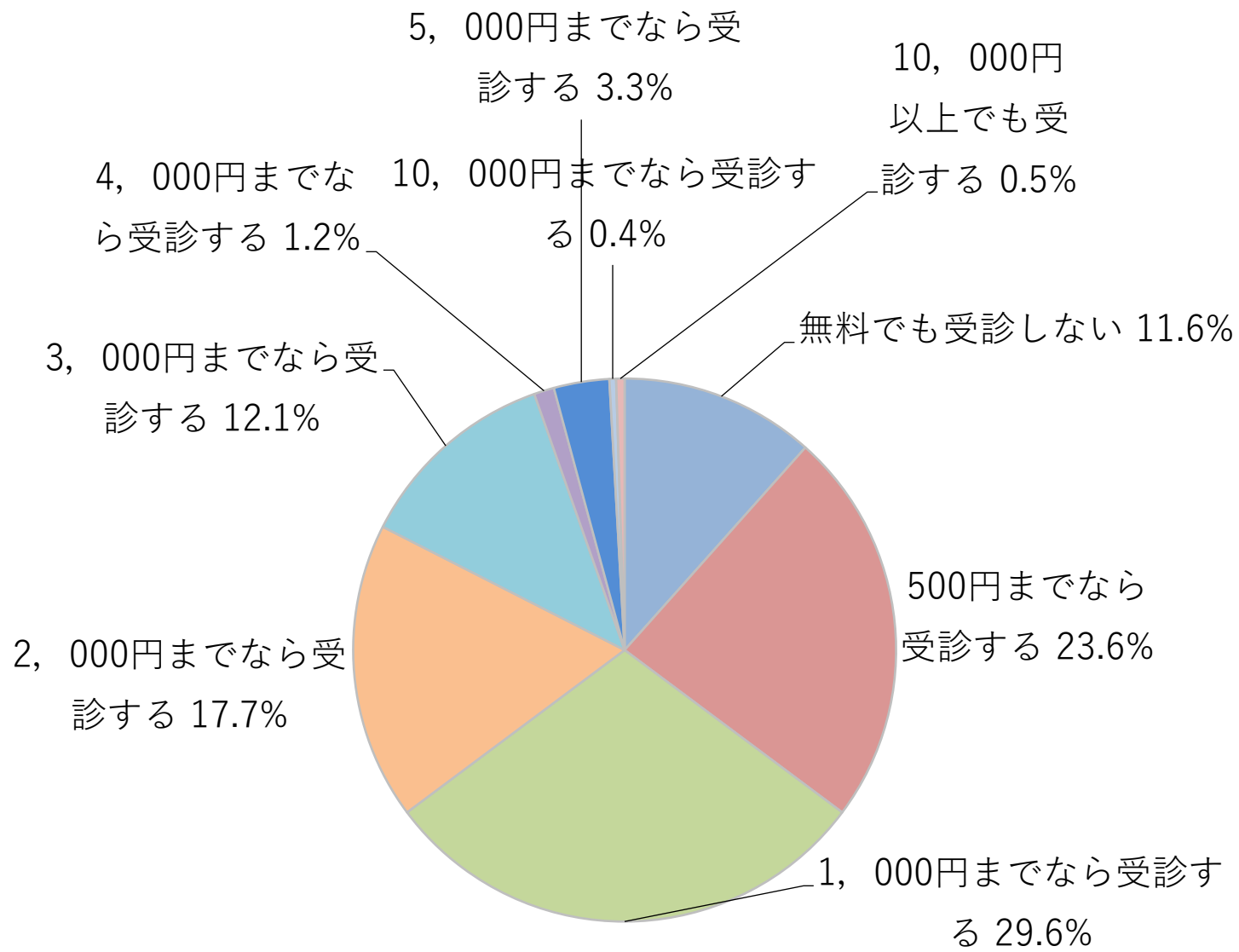
中等度以上の月経困難症のある人での知識普及率 (n=3,708)



Q3 時間や金銭負担の心配がなければ、生理痛について、医療機関を受診したいと思っていますか。(n=3,708)



Q4 一ヶ月の医療費（検査・投薬料金含む）の自己負担がいくらまでなら受診しますか。（n=3,708）



自己負担

- 月々1,000円までなら64.8%が受診。
- 月々2,000円までなら35.2%が受診。
- 11.6%は無料でも受診しない。



1000円以上を支払う意欲がある人

	Odds Ratio		
	(OR)	95% CI	p-value
年齢	0.98	0.97 – 0.99	0.001
月経困難症スコア	1.1	1.00 – 1.22	0.048
月経困難症の知識	1.18	1.12 – 1.24	<0.001
世帯年収 (Ref: <200万円)			
600–800万円未満	1.69	1.16 – 2.48	0.007
800–1000万円未満	1.89	1.21 – 2.95	0.005
その他の収入	NS	—	>0.05
地域 (Ref: 関東地方)			
北海道地方	1.5	1.05 – 2.13	0.025
東北地方	1.44	1.04 – 2.00	0.028
九州地方	1.43	1.07 – 1.91	0.017
その他	NS	—	>0.05

(ORが高いと意欲がある)

1000円以上払う意欲のある人

- 若年
- 月経困難症スコアが高い
- 月経困難症の知識がある
- 世帯年収が600万円以上
- 北海道・東北・九州地方

有意差なし

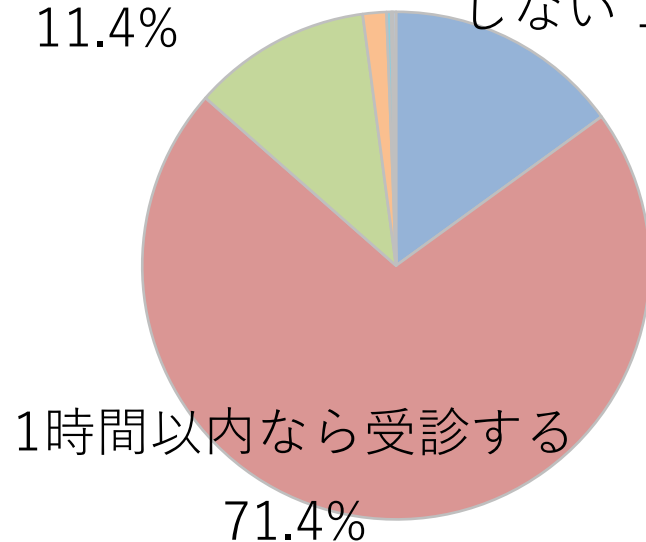
- 勤務形態（リモートの有無、フルタイムの有無）
- 個人年収
- 婚姻の有無
- 子供の有無



Q5 月々、平日日中の受診にかかる時間的負担（移動時間、待合時間など含む）がどの程度であれば、受診しますか。

※平日とは、年末年始や祝日を除く、月曜日から金曜日を指します（n=3,708）

2時間以内なら受診する 11.4% かかる時間を問わず受診しない 15.0%



自己負担

- 月々 1 時間以内なら85.0%が受診。
- 月々 2 時間以内なら13.6%が受診。
- 15.0%はかかる時間問わず受診しない。

Q2 生理痛を理由にこれまで医療機関を受診したことがない理由 (n=3195)
→Q6医療費（検査・投薬料金含む）の自己負担額が対面診療と同じと仮定して、オンライン診療があればあなたは受診するようになりますか

■ オンライン診療があれば受診する ■ オンライン診療があっても受診しない

		全体	(%)	
全体		(3, 195)	44.3	55.7
Q2 時間がないから	とても当てはまる	(756)	53.2	46.8
	やや当てはまる	(1, 311)	46.1	53.9
	あまり当てはまらない	(698)	38.3	61.7
	全く当てはまらない	(430)	32.8	67.2



通院に時間を使うと回答した人

	OR	95%信頼区 間	p-value
年齢	0.963	0.95-0.98	<0.001
月経困難症スコア	1.213	1.06-1.39	0.005
月経困難症の知識	1.134	1.05-1.22	0.001
子供あり	1.537	1.17-2.03	0.002

(ORが高いと意欲がある)

通院に時間を使う人

- 若年
- 月経困難症スコアが高い
- 月経困難症の知識ある
- 子供がいる

有意差なし

- 勤務形態（リモートの有無、フルタイムの有無）
- 世帯年収
- 個人年収
- 地域